



視察報告

立憲・国民・無所属の会さいたま市議団は、さいたま市への政策提言を行うため、
政務活動費を使用した視察を適宜行なっています。
視察を通じ、どんな知見が得られ、
それをさいたま市にどのように反映していくかについて市民の皆様への説明責任を果たすべく、
本ホームページ上で視察報告を公表します。
「会派合流・会派名変更前のデータも公表しています。」

2010/06/02

【民主党 さいたま市議団】水戸市視察報告

水戸市コミックマーケット誘致に関する視察報告

【視察日時】5月24日（月）13：00～16：00

【視察場所】水戸市市民会館会議室、コミックマーケット開催会場

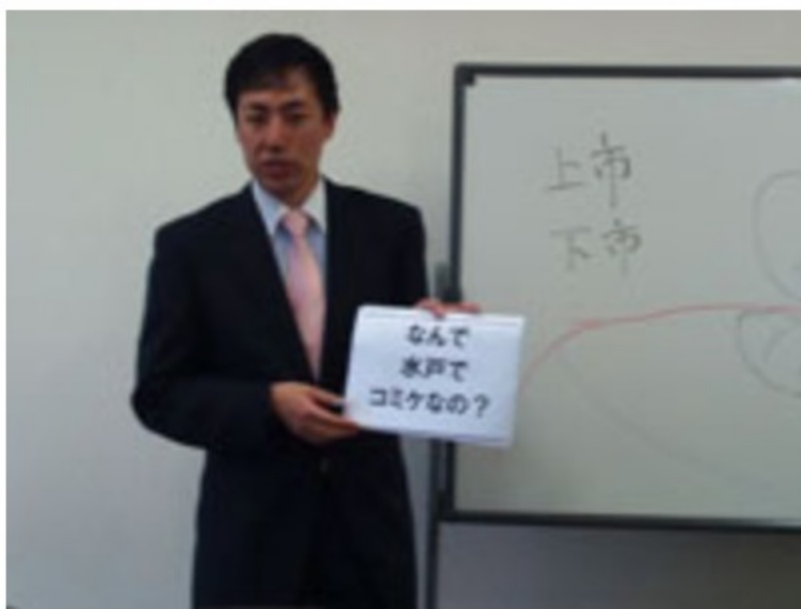
【視察目的】

地域資源を活用したまちおこしの調査研究に取り組む中で、埼玉県産業労働部観光課へのヒアリング時に「水戸市でのコミックマーケット誘致」の事例を紹介された。さいたま市でのまんが・アニメを通じたまちおこしと、コミックマーケット開催の可能性を探る目的で視察を実施した。

【参加者】池田、三神、土井、政務調査員（田口）

【対応】水戸市政策研究会

【概要】



水戸市政策研究会は、水戸市のオリジナリティーを生かし、市の政策課題について楽しく考え、活動を通して視野を広げ、様々な部署の仲間が集まる水戸市役所職員のサークルである。設立から10年を経過し、これまでも「市街地散策ステークス（G1）」「市役所お仕事カタログ」「世界遺産提案」「第30回世界オセロ選手権大会ボランティア参画」等々の活動を続けてきている。

コミックマーケット（通称コミケ、コミケット）は、毎年2回東京ビッグサイトで開催されている世界最大のまんが・アニメ・ゲーム関連の同人誌即売会である。さらに、5年に1回テーマを設定した『コミケットスペシャル』を、地方都市を会場として開催している。今回のコミケットスペシャル開催場所公募テーマが「まちおこし」であったことから、水戸市政策研究会中心となり、地域資源を活かした提案をまとめ応募するに至った。その後、「コミケってなに？」という仲間たちとともに『コミケでまちおこし・みと実行委員会』を立ち上げスタートした。



水戸市最大の行政課題の一つである「中心市街地の活性化」を解決する手段として、「ゼロ予算」で「コミックマーケット誘致」に取り組み、2日間で3万3千人以上の人を集客した。

【所感】

本事業最大の特徴は、行政や商工関係の団体からの支援等に頼らず、自主的に参加した市民や企業が中心になって進めてきた点にある。その中心的役割を担ってきた須藤氏から「コミケは手段であり、まちおこしが一番のテーマである」と伺い、地域に対する熱い思いが伝わってきた。さいたま市においても、同じように地域の活性化に積極的に取り組んでいる個人や団体も存在している。

水戸市政策研究会としての取組みの主眼はあくまで「まちおこし」であり、今回の成功をふまえてマンガ、アニメをまちおこしの柱とするつもりはないとのことである。しかし、本事業を通じ、須藤氏は「眠りに入っていた水戸の街を叩き起こすことができた」「まちが楽しければ、人は来るということを実感できた」とのこと、まちおこしにつながる次の事業を「熱の冷めないうちに」実施する予定だという。

さいたま市の資源をどのように捉え、機運を盛り上げていくかなど課題は多いと思うが、引き続き人的資源等も含め研究をしていく。